

令和 2 年度

## 自己点検・自己評価報告書(学校関係者評価)

- 1 日 時 第1回 学校関係者評価委員会 令和2年9月28日(月) 午後5時  
第2回 学校関係者評価委員会 令和3年2月10日(月) 午後5時
- 2 会 場 静岡県東部総合美容専門学校 応接室
- 3 委 員 令和2年度学校関係者評価委員名簿

### 令和2年度学校関係者評価委員名簿

	委 員	氏 名	所 属
1	元公立高等学校長	高田 道雄	
2	地域住民	鳥居 正浩	公立中学校 学校支援地域本部コーディネーター 警備会社 勤務
3	地域住民	永倉 えり子	キャリアコンサルタント フリーランス
4	卒業生	峯 知美	沼津市 辻写真館 勤務・美容師
5	保護者	長田 章子	家電量販店勤務
	(本校職員)		
	校長	安藤 宏通	
	教務	白石 美和子	
	(事務長)	(監物 明)	

静岡県東部総合美容専門学校

令和2年度 学校自己評価シート

\* 全て自己評価 評価 5・4・3・2・1 計画を大きく超え十分な成果があった時「5」、過不足なく業務を遂行した時「3」、計画を大きく下回り、乏しい結果となった時は、「1」を記入する

大項目	評価項目		評価の観点	評価	
	中項目	小項目		評価者	R 2
(1)教育理念・目標	設定	1-1 理念目標等	・理念や目標等は明確に定めてあるか	資料	4.0
(1)教育理念・目標	教育理念	1-2 教育理念「学生の幸福追求と挑戦への取組」	・幸福追求と挑戦する心の育成を念頭に教育活動を行ったか	全員	3.9
(1)教育理念・目標	教育目標	1-3 教育目標「豊かな教養」	・「豊かな教養」を念頭に教育活動を行ったか。	全員	3.8
(1)教育理念・目標	教育目標	1-4 教育目標「確かな技術」	・「確かな技術」を念頭に教育活動を行ったか。	全員	3.8
(1)教育理念・目標	教育目標	1-5 教育目標「社会への貢献」	・「社会への貢献」を念頭に教育活動を行ったか。	全員	3.5
(1)教育理念・目標	重点目標	1-6 重点目標「魅力ある教育活動・環境」	・指導内容、指導方法の工夫改善を目指したか。	全員	4.0
(1)教育理念・目標	重点目標	1-7 重点目標「国家試験・資格試験への取組」	・全員合格を目指し、工夫改善を行ったか。	全員	3.7
(1)教育理念・目標	生活目標	1-8 生活目標「整理整頓清潔」	・生活目標の指導を積極的に勧めたか。	全員	3.8
(1)教育理念・目標	生活目標	1-9 生活目標「笑顔で挨拶ありがとう」	・生活目標の指導を積極的に勧めたか。	全員	3.7

努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響でイベントが中止となり、社会貢献活動の場が減ってしまった。その様な状況の中でも、学校前であいさつ運動を行うなど、できることを行った。</li> <li>・生活目標を意識づけるため、校内の消毒を重点的に行い、衛生に配慮した学校となるように心がけた。</li> <li>・生活目標を意識づけるため、接遇マナーの授業と日常生活をつなげるよう心がけた。</li> <li>・休校中、自宅で行う課題学習を出したが、少しでも効果的な学習となるよう、課題の工夫を試みた。</li> <li>・毎年同じ授業にならないように、学生を見ながら変更する必要があると考えている。学生がワクワクするような授業を行うことを目指して、自己の技術を高めるような自己研修を志した。</li> <li>・学生への声かけを積極的に行い、コミュニケーションをとるようにした。学生理解を心がけ、良好な人間関係を築けるよう努めた。</li> <li>・目標に向かい、自分の役割を考え、行動した。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生心得の内容や日常の学生指導を、社会の変化に合わせて改善をしていきたい。</li> <li>・国家試験対策の授業を、充実するよう工夫していきたい。</li> <li>・生活目標の2点について、就職してからも重要なことであることを理解させ、今以上に徹底して指導していきたい。</li> <li>・学校の教員として、専門だけでなく必要な研修を行い、教員としての力をつけていきたい。</li> <li>・安心・安全を念頭に置いた、新たな教育様式の構築と充実を研究していきたい。</li> </ul>

(1) 学校関係者委員の意見・改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生アンケートと併せてみると、様々な点で右肩上がりになっている。学校の勢を感じる。</li> <li>・技術力が高いと感じた。フォトコン入賞者が、全生徒中35%となったことも目を見張る。</li> <li>・生活目標は先生方の評価は高いが、学生は満足度が高い生徒が減少している。先生方の指導が多く入ると学生は逆に自分たちの活動が十分でないと感じてしまうからではないか。外部の意見で、トイレ清掃が行き届いているなどの良い点を伝えると、学生も正しい評価が出来るのではないか。</li> </ul>
--

(2)学校運営	教育課程	2-1	全体計画	・国家試験の合格率上昇と各種コンテストの入賞者増加に結びつけることができたか。	全員	3.5
(2)学校運営	教育課程	2-2	計画性	・目標達成に向けて計画的に実施しようとした。	全員	3.7
(2)学校運営	教務	2-3	出席簿の記入、学籍管理	・公簿への記入を適切に行ったか。	全員	3.5
(2)学校運営	教務	2-4	自習の削減・授業時間確保	・授業時数の確保をしたか。自習の時間の工夫がされたか。	教員	3.4
(2)学校運営	教務	2-5	諸表簿の整理、通信票	・諸表簿の整理や管理ができたか	教員	3.4
(2)学校運営	分掌	2-6	運営組織	・分掌の仕事を積極的に行うことができたか。	全員	3.7
(2)学校運営	分掌	2-7	運営組織	・周囲の人の仕事をフォローすることができたか。	全員	3.3
(2)学校運営	分掌	2-8	学年・学級経営	・学年・学級の実態をとらえた適切な経営ができたか	全員	3.4
(2)学校運営	学校運営全般	2-9	意志決定システム・権限の明確化	・起案については迅速・適切にできたか	全員	3.4
(2)学校運営	学校運営全般	2-10	職員会議・打合せ	・職員間の共通理解に役立てようとしたか。	全員	3.8

努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から、職員間の共通理解を深められるよう努力した。</li> <li>・打合せで、教育活動について周知するよう心がけたため、職員間のチームワークができた。</li> <li>・デスクネットや共有ファイルを利用し、共通理解に努めた。</li> <li>・学生のやる気を損なわない授業の工夫を心がけた。</li> <li>・シラバスを使い、目標や計画を学生に事前に提示したので、比較的計画通りに進んだ。</li> <li>・公簿への記入を速やかにするようにした。</li> <li>・検定合格に向けて、計画を細かく立てて学生を指導するようにした。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の流れを把握し、さらに迅速に仕事ができるようにしたい。</li> <li>・会議や打ち合わせ以外でも、積極的に声をかけ、職員間の共通理解を図りたい。</li> <li>・周囲に気を配り、フォローし合えるような仕事の仕方を心がけたい。そのために、そのようなことができるビジネススキルを身につけていきたい。</li> <li>・自分の仕事で手一杯の時に、皆さんに助けていただいた。自分自身もそうなれるように仕事を進めていきたい。</li> <li>・今年は、行事や検定が中止となったり、延期になったりした。検定対策など、いつもと違う対応を余儀なくせざるを得なかった。その中で、学生の意欲と技術を保つ授業技術を身につけたい。</li> <li>・誰でも文書の所在が分かるような、ファイリングシステムを工夫したい。</li> </ul>

## (2) 学校関係者委員の意見・改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のやる気が感じられる。</li> <li>・学校が居場所として安心できる。</li> <li>・共通理解に努める一方で、フォローが十分でなかったという結果が出ている。自分に厳しい姿勢の表れだと思う。また、コミュニケーションに努める一方で不十分な点があったと、反省をする姿が見受けられる。職員集団として好ましい。</li> </ul>
--

(3)教育活動	教育課程	3-1	教育目標のカリキュラムへの反映	・年間計画の目標に沿って、計画的に実施できたか	教員	3.7
(3)教育活動	教育課程	3-2	教育課程	・教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	教員	3.4
(3)教育活動	教育課程	3-3	教育課程	・業界等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	教員	3.4
(3)教育活動	教育課程	3-4	教育課程	・業界のニーズに応える教育課程となっているか	教員	3.3
(3)教育活動	教育課程	3-5	実務実習	・実践的な職業教育(インターンシップ、実技・実習)が体系的に位置づけられているか	教員	3.1
(3)教育活動	教育課程	3-6	評価	・授業評価の実施・評価体制はあるか	教員	3.3
(3)教育活動	教育課程	3-7	評価	・成績評価・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	資料	5.0
(3)教育活動	研修	3-8	研修	・学生の技術力向上、国家試験、大会対応のための教員研修が行えたか	教員	3.6
(3)教育活動	研修	3-9	教師の意識改革	・研修を通して自分の意識が変わったか	教員	3.7
(3)教育活動	研修	3-10	研修成果の還元	・研修の成果を学生に還元できた。	教員	3.3
(3)教育活動	研修	3-11	学生の変容	・研修を行って学生の変容が見られたか	教員	3.4
(3)教育活動	学習指導	3-12	教材研究	・教材研究を積極的に行ったか	教員	3.6
(3)教育活動	学習指導	3-13	資料・教具等の活用	・教科の資料や教具を活用し、工夫した指導が行われたか	教員	3.4
(3)教育活動	特活指導	3-14	学級活動の指導計画と実践	・学級活動の指導計画と実践は適切に行なうことができたか	担任、副担	3.8
(3)教育活動	特活指導	3-15	行事	・学生の主体的な活動で、行事を創り上げることができたか	教員	3.4
(3)教育活動	保健	3-16	保健指導全般	・日常の衛生指導に心がけたか	教員	3.9
(3)教育活動	防災	3-17	防災訓練	・防災訓練の指導に積極的に関わったか	全員	3.7

努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等との連携が進み、実践的な職業教育として外部講師と授業を行った。指導計画を組んだり、検定に繋がったりするなどして、学生の技術力が高まった。研修や連携の成果を還元することができた。</li> <li>・設備の更新で、パソコンの授業活用がしやすくなった。</li> <li>・福祉理美容士の検定を導入した。高等学校とのつながりや介護施設とのつながりも意識した。</li> <li>・学生と接するとき、コミュニケーションの取り方や距離感の作り方に気がつけた。</li> <li>・防災訓練の時に、集団行動の指導をし、効果的だった。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災用品、備蓄食料等はある程度整備されている。今後「自助・共助」に対する理解を深め、昨今の防災対策を念頭に訓練を計画的、発展的に行いたい。</li> <li>・専門分野の研修や教材研究の仕方、国試対策の研修、これからの学校として必要な研修が行えるとよい。</li> <li>・学生数が増加したことにより、授業や生徒指導など工夫が必要となってくる。</li> <li>・自分の技術向上のための自主練習が足りなかったと思う。学生と共に自分自身も練習や研究を怠らないようにしていきたい。</li> </ul>

### (3) 学校関係者委員の意見・改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職状況が良いというのはすばらしい。多くの業種で採用が厳しい中で、美容関係は明るい。</li> <li>・3-5の文言で、体系的にできているかどうかは難しい質問である。評価が低くなるのもやむを得ない。文言を検討してほしい。</li> </ul>
--

(4)学修成果	就職	4-1	キャリア教育	・就職率は90%以上だったか	DATA	5.0
(4)学修成果	教育課程	4-2	キャリア教育	・資格取得率は90%以上だったか	DATA	5.0
(4)学修成果	生徒指導	4-3	中退回避	・退学率の低減のための連携体制はあるか	DATA	4.0
(4)学修成果	就職	4-4	キャリア教育	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	教員	3.3
(4)学修成果	就職	4-5	キャリア教育	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	教員	3.0

努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の共有に努めていきたい。</li> <li>・卒業生との連絡が途切れないように、コミュニケーションをとり、動向の把握に努めた。</li> <li>・在校生の活躍をしている様子を、高校等に情報提供をした。</li> <li>・広報として、卒業生の情報収集に務めた。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の様々な分野での活躍を、集めていきたい。</li> <li>・卒業すると、個人的なつながりがないと何もわからなくなる。今後は定期的なアンケートなどで、情報収集することも考えていきたい。</li> </ul>

### (4) 学校関係者委員の意見・改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-5が低いが、卒業後のアンケート調査を是非実施してほしい。学生のためにも職員のためにも有意義である。</li> <li>・就職先として東部地区を勧められるから、他校に入学したという子がいた。就職先一覧を見ると、首都圏にも就職しているので、誤解のないように情報提供をした方がよい。</li> </ul>
---

(5)学生支援	学生指導	5-1	問題行動防止の事前指導	・問題行動防止のため、日頃から指導できたか	全員	3.5
(5)学生支援	学生指導	5-2	学生理解	・学生を理解しようとしたか。	全員	3.7
(5)学生支援	学生指導	5-3	整理整頓	・帰るとき机の上はきれいになるよう指導したか	担任、副担	3.8
(5)学生支援	特活指導	5-4	一人一人の学生を生かした学級経営	・一人一人の学生を生かした学級経営を工夫できたか	担任、副担	4.0
(5)学生支援	学生相談	5-5	就職指導体制	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	資料	4.0
(5)学生支援	学生相談	5-6	相談体制	・学生相談に関する体制は整備されているか	全員	3.6
(5)学生支援	学生相談	5-7	学校独自の奨学金	・学校独自の奨学金などの経済的な支援体制は整備されているか	資料・事務	3.7
(5)学生支援	学生相談	5-8	健康管理	・学生の定期健康診断に対する、個々への指導はされているか	資料・事務	3.0
(5)学生支援	学生相談	5-9	保護者との連携	・保護者会・保護者面接など保護者と適切に連携しているか	担任、副担	3.3
(5)学生支援	学生相談	5-10	卒業後の支援体制	・卒業生への支援体制はあるか	全員	3.4
(5)学生支援	高専連携	5-11	高校ガイダンス	・高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	全員	3.6

努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、学校独自の奨学金制度ができた。</li> <li>・体験授業をとおして、美容業を知ってもらうよう努力した</li> <li>・整理整頓をするように毎日指導をした。自分が教室でゴミを拾ったり、教卓周りを綺麗にしたり、手本になるように努めた。</li> <li>・学生が声をかけやすいように、こちらから話すよう意識した。</li> <li>・学生一人一人と積極的に話をし、特に欠席の多い学生の個別対応に努めた。</li> <li>・学生から相談を受けることが度々あった。しっかり話を聞いた上で適切なアドバイスを行うよう心がけた。</li> <li>・保護者と話しをするときには、保護者に不安が残らないように対応した。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の心の内をつかむのは難しい、担任との連携や外部カウンセラーの協力でできる限り学校を続けていこうという気持ちになれるように指導していきたい。</li> <li>・学校経営等々、学校教育の様々な研修をしたい。</li> <li>・学生の心の動きと変化を敏感に察し、困り感に早く気づけるようにしたい。</li> <li>・伝えるべきことをしっかりと伝えられる、メリハリのある指導をしたい。</li> </ul>

### (5) 学校関係者委員の意見・改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・5-2,5-4が高く、学生にとって良いことだと思う。</li> <li>・健康診断の結果は病院から来る書類を渡すだけでなく、通院しているかどうかなど声かけも必要。</li> <li>・三者面談などは必要に応じて実施したということだが、相談事業を充実させていったらどうか。</li> </ul>
--

(6)教育環境	防災	6-1	教室等の安全点検	・教室等の安全点検はしっかりできたか	全員	3.4
(6)教育環境	庶務	6-2	施設の管理と営繕の進行	・管理分担場所の整備や営繕は円滑に行なったか	全員	3.3
(6)教育環境	庶務	6-3	可燃物、不燃物置き場の使用状況	・「三島市のごみ出しルール」に基づいて分別して捨てる指導がなされたか	全員	3.6
(6)教育環境	庶務	6-4	備品の管理	・机、椅子や備品の正しい使い方指導が適切に行われたか	全員	3.5
(6)教育環境	清掃	6-5	清掃指導	・各清掃場所の指導・点検は適切に行われたか	全員	3.6
(6)教育環境	事務	6-6	届け出の処理	・出張届、年休簿、諸手当等の処理は適切に行われたか	全員	3.7
(6)教育環境	事務	6-7	管財関係	・無駄のない物品の購入、保管、点検は速やかにできたか。	全員	3.6
(6)教育環境	事務	6-8	無駄遣いについて	・実習室・教室等のエアコン・電気・水道水の無駄を省けたか	全員	3.6

努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、玄関マット清掃をやりながら、校内点検を実施した。</li> <li>・月に1回の大掃除は、校内美化に効果的である。</li> <li>・学生にもゴミの分別指導を徹底したため、効果的だった。</li> <li>・営繕、清掃、事務処理など、早めに処理することを意識して行動した。</li> <li>・共用の場所の清潔を保てるよう、掃除場所の点検を適切に行った。</li> <li>・季節を感じさせるディスプレイの工夫やイベントを、事務局としても行った。</li> <li>・電気・エアコンの消し忘れを始め、無駄を減らす努力をした。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な内部設備の改修、業者の清掃を年に1回程度実施していきたい。</li> <li>・届出の提出ミスをなくすよう、規則等の確認をしていきたい。</li> <li>・職員間で連携を取り合い、円滑に進めたい。</li> <li>・消毒・換気・保湿をより徹底させていきたい。</li> <li>・電気やエアコンの消し忘れについては、継続して指導する必要がある。</li> <li>・毎日の清掃指導の質を高めることの必要性を感じた。</li> <li>・細かな所の清掃まで行き届かなかった。工夫が必要だと感じた。</li> </ul>

### (6) 学校関係者委員の意見・改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1度の大掃除はよい活動である。</li> <li>・学生の自己評価が低かったが、職員の基準が高いとそのような結果となる。しかし、職員の清掃等に関する基準を低くする必要はないので、外部の評価を積極的に集め、学生に伝えてあげると良いのではないか。</li> <li>・清掃活動を補完する意味で、改善点にあるように業者を入れるのも良い方法である。</li> </ul>
---

(7)学生の受入れ募集	募集	7-1	学生募集	・学生募集活動は、適正に行われているか	全員	3.6	
(7)学生の受入れ募集	募集	7-2	学生募集	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	全員	3.4	
(7)学生の受入れ募集	募集	7-3	学納金の明示	・学納金は妥当なものとなっているか	全員	3.6	
努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験入学等で来校した生徒、保護者に話しかけるよう心がけた。本校在校生と一緒に楽しい活動ができるよう心がけた。</li> <li>・学校を知ってもらうことはもちろん、美容の魅力を知ってもらいたいため、自分が楽しいと思っていることや実際の現場の雰囲気などを話して、情報提供した。</li> <li>・本校を選ぶメリットや魅力などを分かりやすく適切に伝えられるよう、聞き手のことを考えて、話し方・伝え方、資料作りを少しずつ変えるなどした。</li> <li>・高校から依頼を受けたことに対して、レスポンスを早くし臨機応変に対応するよう心がけた。</li> <li>・体験入学への参加と、国からの認定事項に係わる本校の魅力を分かり易く伝えた。</li> <li>・修学支援に向けて、奨学金、授業料の減免制度の周知など、学生の支援に努めた。</li> </ul>						
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の幸福追求を第1に考え、1名でも多く入ってもらえるようにしていきたい。</li> <li>・自己研修として、語彙力や応対力を高めて行く必要があると感じた。</li> <li>・高校の先生や生徒の保護者にも、適切な言葉で正確に伝える事を心がけていきたい。</li> <li>・制度活用の上で適格な運営がされるよう、制度に対する理解を深め募集活動に活用していきたい。</li> </ul>						

### (7) 学校関係者委員の意見・改善点

・学生アンケートで、「入学して良かった」と答えた学生は、28年の47.7%から令和2年度は84.6%となり、高い満足度である。「後輩に入学を勧めたい」と答えた学生は、28年度の22.2%から令和2年度は75.4%と、この項目も高い満足度である。この項目を見ただけでも魅力的な学校である。積極的に知らせていかなければならない評価内容である。

(8)財務	財務	8-1	財務状況について	・適正な(無駄のない)執行ができたか	職員	3.6	
(8)財務	財務	8-2	財務状況について	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	関係者	2.7	
(8)財務	財務	8-3	財務状況について	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	関係者	3.0	
(8)財務	財務	8-4	財務状況について	・財務について会計監査が適正に行われているか	関係者	4.3	
(8)財務	財務	8-5	財務状況について	・財務情報公開の体制整備はできているか	関係者	4.3	
努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業全体に無理のない執行と節約を心がけた。</li> <li>・無駄なく、こまめに備品(消耗品)の購入に努めた。</li> <li>・しっかりと数を把握し、余らないように購入をした。</li> <li>・生徒数の増加に伴い、収益性は改善されつつある。</li> <li>・無駄遣いせず経費の削減に努めており、一定の成果は出ている。</li> <li>・毎月監査を行い、適時に適正な会計処理を行っている。</li> </ul>						
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営方針に沿った予算整備に心がけたい。</li> <li>・計画的な内部設備の充実と改修をしていきたい。</li> <li>・消耗品など、授業に支障を来さないことと、過不足なく購入するように努力したい。</li> <li>・自分の立場を理解した上で、財務内容を理解する必要がある。</li> <li>・適正かつ正確に、効率よい予算の執行を心がける</li> <li>・将来の校舎改築等の準備に力を入れ、長期的な計画の中で資金の充実を図りたい。</li> </ul>						

### (8) 学校関係者委員の意見・改善点

・この評価項目の評価者で、関係者としている部分は、会計士も評価に加わっているという説明だった。今年の自己評価は、工夫されている部分が多い。

・多くのものが好転する中で、財務状況も好転してきていることがわかった。

(9)法令等の遵守	運営管理	9-1 設置基準	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	事務	3.6
(9)法令等の遵守	運営管理	9-2 個人情報	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	事務	3.5
(9)法令等の遵守	運営管理	9-3 自己評価	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	事務	3.5
(9)法令等の遵守	運営管理	9-4 情報公開	・自己評価結果を公表しているか	事務	3.8
努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の流失はあってはならない。必要以上に気をつけている。</li> <li>・毎年、自分の自己評価を記録して、次年度の計画に参考にしている。</li> <li>・情報公開をできるだけするように努力した。</li> </ul>				
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで様々な取組をしてきた。第三者による評価を依頼することも1つの方法である。そのためにも更に質の高い教育とそれを提供する学校にしていかなければならない。</li> <li>・個人情報の管理にはなお一層の注意を向けなければならない。</li> </ul>				

### (9) 学校関係者委員の意見・改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の流失には、充分すぎるぐらいの注意が必要である。</li> <li>・数値を見ると普通以上に気をつけているということだと思うが、重要な項目なので更に意識した方が良い。</li> </ul>
--

(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献	10-1 産・学・行政・地域連携	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	全員	3.5
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献	10-2 産・学・行政・地域連携	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	全員	3.6
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献	10-3 産・学・行政・地域連携	・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	全員	3.5
努力点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動の主なものは中止になってしまったが、今できる挨拶運動などの取組を行った。</li> <li>・地域に対する公開講座も中止となったが、落ち着いたら再開したい。</li> </ul>				
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式に沿った地域貢献ができるようにしたい。</li> <li>・コロナでどうなるか分からないが、今後も地域貢献の依頼があれば協力していきたい。</li> <li>・コロナ禍での社会貢献のあり方を研究し実行していきたい。</li> </ul>				

### (10) 学校関係者委員の意見・改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動は1年実施できないと先輩からの引き継ぎができない。コロナ後の指導をどうするか課題である。</li> </ul>
---

## ◎学校関係者評価を受けて

自己評価結果の資料、学生アンケート、就職先一覧や資格試験の取得状況などのデータを提供し話し合いをしていただいた。その中で、学校に活気がある、伸びている様子がよくわかる、地域で聞く評判も上々であるなど、これまでの努力が実っているという評価をいただいた。本校では、関係者評価や様々なデータなどを謙虚に受け止め、更に発展させたいと思っている。そして、職員や本校に係わっている方々とのチームワークで進めていくことが必要だと考えている。

一方で、他校に入学した生徒の中には、東部美容学校は就職先も東部だという誤解をしている生徒がいると聞く。首都圏にも30%を超える学生が就職しているという事実を、積極的に伝える必要がある。首都圏が良いということではないが、学生の希望を大切にしていることが伝わっていないことが、改善点として重要である。また、本校の学生は社会貢献に対する意識は高いが、活躍の場がなかった等の意見があり、次年度からの指導を見直す必要があると感じた。特に社会貢献活動は、本校が大切にしている教育活動の柱であるので、コロナ禍での活動の仕方を考えていくことは急務である。

また、本年度は学校自己評価のやり方を変えたためか、例年よりも職員の前向きな姿勢が評価に表れていたと感じた。このことを大切に、気持ちを持続させる中で、より質の高い教育、健全な学校経営をしていきたい。